

刊夕日一十三月八

常磐毎日新聞

定価 一部全額、一月五拾銭、郵費五拾
 廣告料 五拾二文字、一行五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

剃髪

泉 潤 三

渡り廊下を越えんと、ひろからぬ本堂は、戸の破れ目から射す雪明りで、物の姿を青白く浮べてゐるのでした。

やがて彌須壇には灯がともされ、お小夜は經机の前白布の敷きのべられた上に髪板を捧げて座つたのでした。

和尚はお小夜の後に立つて剃刀をとり上げました。何の言葉もなし、和尚の立居は餘りにも、しのびやかでありました。

剃刀は白い虹の様に房々とした黒髪の上に翳され、須彌壇の灯を受けて、和尚の袖がすかすかに揺れ動く

ノート
 麥酒の醸造は大麥百貫から約八十貫の麥芽を得、之から約九石の製品が出来

度、ひとひらひとひら黒髪はこぼれ落ちるのでした。本堂の内は水底の様、無気味な程、ひそやかに澄透つた人の氣と、物の氣と

の微かな阿吽の氣に満ちてゐるのでした。

お小夜の雪白な額をかすめて、こぼれる黒髪は、捧げた髪板の上へはこぼれず、御堂の闇に、爰の如くざらざらと消へては行くのでした。

その夜に青白く、水々しい髪が少しづつ擴がつて行くのを方丈は板敷に跪いて、こぼれ落ちる黒髪の間、共に此の世のものでない様に、うつと眺めてゐるのでした。

和尚は剃刀を置きました。次に捧げて居た髪板をお小夜の手から受取ると、其の手に小さな水晶の珠數をうつして、其のままだまつて歩き出しました。

方丈も其の後に従ひました。が、渡り廊下へ出る處で二度振りかへつて見ると、お小夜はちつとうなだれたまゝ、座はつて居ました。

手首に掛けた水晶の球數が、思ひなしか、光を還して微に震へてゐるらしいのを方丈は見とりました。

そして剃り上げられた圓い頭が静まり返つた本堂の下闇に、晝の月の様に浮んでゐるのを方丈は、ぞつと脊筋に冷水を浴びた様に身震いしながら目さめて、本堂の戸を掃切ると、二足三

足、早足に和尚の後を追ふのでした。

和尚は何事もなかつたやうに静かなしきも重い足どりで、渡り廊下に歩を運んで行くのでした。

庭一面の雪は銀砂子の様に光り雲は切れて、腹にしみとほる程の凄しい月夜でありました。

後の方で柱の凍み割れる微かな音さへも、方丈の胸に響きました。

【朝】味噌汁・豆腐
 【明】日の軌立
 【晝】鯛のきぬた巻
 【晩】すゝとん、メリケン粉、ねぎ(茗荷)里芋

月夜のまゝに、明け方が近づいて参りました。雪明りと、月明り、そして風一つない静寂な大地の形でした。

サ、ササ——枝葉に積りかねた雪が自ずと舞ひ落ちる微かな音は、静寂を益々増せばとて掻き亂す音ではありませんでした。と、その静寂の底から起るかの様に同じ山寺の庫裡の戸をほとほと誰かがたたくのでした。

「良純——誰が見へたではなにか」
 方丈の聲が薄暗い土間の方できこへました。

御位牌と品よく
 安
 橋本屋
 平新川町
 電話一六三

旋風の大流行の
 新スポーツ競技玩具
ボクシングボールが
 澤山参りました

場所を選ばずどんな人にも出来てキケンのない面白いゲームです
 高級型 金十五銭
 高級型 金三十銭
 平 驛 前
 特約店 いづみや玩具店

吸入用酸素純度99%
 度量衡
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 器量計
 体温計
 寒暖計

関内薬局
 電話四〇番
 写真材料一式販賣致シマス

薬局開設報告

東京銀座で大好評を博した、伊東屋特製：フランス人形が店頭で御目見得致します。何卒皆様御覽下さい。店舗改造中大層皆様に御不自由を相懸けました。が愈々出来上りました。一寸新しい明るい薬局となりました。私儀明治薬学校卒業後暫、東京帝國大學附屬病院薬局に勤務研究して居りましたが皆様方よりの御すゝめによりまして今度自宅にて薬局を開設いたしました。諸大醫處方箋調劑の御相手をして多少に不拘御利用下さい。……。

阿康薬局
 電話四四番
 振替口座東京三〇〇五番
 阿部 康 雄

素晴らしい乗心地の!!!
 三十五年式流線型新車が
 参りました
 是非御試乗御利用の程を御願申します

三井タクシー
 電話六八五番

平野田通電話三六六番
平野田通電話三六六番
平野田通電話三六六番



湯本—勿來間

延長猛運動

ガソリン車停留所を

昨日關係町村長が決定

既報昨日日平驛を中心として行はれたガソリンカーの試運転を機會に關係町村長は平町會議室に會合しガソリンカー停留場を湯本入山四坑地先、平町公園先、神谷村中神谷先、大浦村狐塚先、四倉町小野新町街道踏切、久ノ濱田名網先、好間

愈よ本格的の出荷

弱氣だが昨年より三割高

四倉市場三十日取引は總數千三百貫の本格的出荷であるが最高四圓三十九錢、最低三圓四十錢、馴三圓九十五錢、掛目三十四掛で相場は弱氣を示して来たがそれでも昨年に比べると三割方の高値で養蠶家を喜ばして居る

惶れて

晩秋蠶手控

四倉市場の初秋蠶相場は買馴四圓臺の高値を續けて居り更に先高豫想もあるので養蠶家はいづれも明かだが近く出廻る晩秋蠶の掃立を一般に控へて居る者の多いのは桑園の改植整理による桑不足を來したのと買入では却つて損だと云ふ用心か

げ青沼平町長に買收價格と時價の差額を町から補助されたいと陳情した

平署員赴任日 高田

署へ轉任となつた平署の渡邊齊部長及び福島署刑事の長谷川巡查、田島署員の關口巡查の三氏は九月二日平驛發午後二時十五分列車で赴任するが中村署から江名

關西風水害で

本年は柿高値

郡農會が早くも

販賣統制に斡旋する

本郡農會は郡下生柿の販賣統制を實施後相當實績を擧げて居るが今年から東京市場取引機構の變化から販賣統制は重要問題となつたので同會では各農會の希望者には係員を派して統制に關する懇談會協議會を開いて指導に當ることになつた尚郡産柿屋柿は東京横濱市場に多數出荷され昨年は一箱平均一圓四十五錢で取引されたが本年は生柿の本場關西方面が風水害の被害で柿

らであると

潰地が安いと

補助申請

既報夏井川改修工費用潰地として縣當局が買収する平町地内の約三町歩は極く安値であるとして地主四十三名は昨廿九日代表者六名を舉

秋の訪れ

けふ涼風に

誘はるゝ儘

颯風も無事に過ぎた今日涼風に誘はるゝ儘松ヶ岡公園の秋を探りに出かける。今日は素晴らしい高い空だ足は一步步第一公園の急坂を頂上に向けて刻むで行

駐在に轉動した板橋源治郎巡查は明一日午後十二時四十九分平驛着列車で着任する

内郷軟式野球 内郷

村内の軟式野球大會は九月八日午前八時から磐炭高坂グラウンドに於いて開催され優勝旗の争奪戦を行ふが参加チームは十五であると

平署員の異動 平署

では廿一日付で署内異動を左の如く決定した

新 舊 氏名
平 窪 夏井 田中 權作
綴請願 江名 眞弓 忠治
小名濱 三春 渡邊 幸司
江 名 中村 板橋源次郎
夏井 坂下 森 道康
内 勤 外勤 遠藤 正彌

表公園から密着する櫻樹

の間にくり擴がる市街……平發電所の巨大な煙囪の尖端から湧き出る煤煙も、今日は遙かな谷川瀬山の上空に向けて緩るく觸手をのびして愁久な秋空の深みに解け込んで行く。

平署巡查操練 平署

管内の出署日は今日午前八時であるが同九時から齊藤警部補指揮の許に渡邊、瓜生、草刈三巡查部長補導で松ヶ岡公園に操練を行つた

平町 人事

回 婚 姻
茨城縣多賀郡平瀧町小野好枝氏(三〇)研町吉村ミヨさん(三三)
△愛媛縣新居郡西條町宇屋敷小川靖彦氏(二四)四軒町竹尾徳さん(二二)
回 死 亡
△堂ノ前一五 眞木茂(三八)さん

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎 回文庫

電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

本町通りの舗装道路を疾駆する自動車も此處からは騒音も消され、聳え立つ丸友ビルや平局その他のモダンな高層建築に蒼空は輕くもたれかゝつてゐるかの様だ。

今、公園は正に夏から秋への過渡期的な躍進の變化を多く見せて、チラチラ秋を探る人達の杖を引き、その雅心を咬つて居る。

コロンビヤ 新製品 蓄音器とポータブル 金貳十五圓
レコードは
コロンビヤ の平盆踊り
其他 譜澤山あります
平町五丁目(電一九五番)

金光堂時計店

◎最も理想的な相互扶助機關◎
□共存共榮自力更生の大策□
中小商工業者の一大利源
石城中小商工互融會生る

融資御希望の方へは
十錢の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します
五分以上の割戻分配を致します

- 本會の事業
- 一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
 - 二、懇談會併精神修養講話會
 - 三、會員の吉凶慶弔
 - 四、人事、百般の相談
 - 五、法律、無料相談
 - 六、診療、救恤の補助
 - 七、納税の代納事務取扱
 - 八、勤儉、蓄積の奨励
 - 九、小資本の融通
 - 一〇、會員の特典
 - 一一、會報の發行

皆さん御利用を願ひます
相互扶助機關

石城中小商工互融會

福島縣平町番植小路一番地

株式賣買

合資 三 共 商 事

大町 電話三〇番

震災を

追想せよと

平町長が通牒

明日は十二年目に當る

明九月一日は關東大震災の記念日なので各家庭は酒なしデーとして元費を節約し、社會事業資金の寄附その他奉仕を獎勵一齊に當日を追想する様平町長から各區に通牒を發した

けい遺骨

濱松へ

既報昨卅日平町で茶毘に附した濱松飛行學校の濱谷曹長飛行八聯隊機本上等兵の遺骨は本卅一日午前九時發上り列車で遺族を始め瀧少佐、佐藤大尉益田軍醫等に護られて出發したが驛頭には平町在郷軍人會、愛國婦人會其他有志多數が見送つた尚明一日は濱松飛行學校葬六日には盛大な聯隊葬が

舉げられると

新種 無毛桃

農事分場で

縣立農事試驗場石城分場で今回新種の桃の結實に成功したが表皮に毛のないのが特徴であると

隣保館落成

江名町經營

江名町共濟事業助成會經營の隣保所落成式は九月二日午後一時から舉行されるが伊藤知事も臨席されると

黎明會好成績

三小學校の黎明會は今朝五時半から開會定刻までの集合人員八百七十七名で前回より好成績

効果的な早道は

規律の軌道へ

新學期の注意を

篠山第一校長が語る

長い夏休みが終る——各家庭の新學期初めには特に注意すべき点に付き篠山平第一小學校長は左の如く語る

いよ、明後日から新學期に入ることが家庭の不規則な状態から規則正しい學校生活に轉換するのは心

身共に微妙な變化を齎らすので學校では此の点を重視して徐々にネジを巻いて九月中頃までには正調な勉強を自然に取り戻すやうにしますが、第一學期を準備時代とすれば今度の新學期は充實時代で最も實のある教育を施す期間でありますから一學年の成績を左右することもある故家庭では特に注意を拂ひ夏休課題が兒童の力によつて遺憾なく整理出來たが、第一學期末の通信簿の結果に徴し第二學期を如何に導くか等の点について子を持つ親として考へて頂きたい、更に案外だらしない生活を送り勝ちのため免もすると注意力が散漫となり物事に倦き易く居眠

提灯を置き忘れて

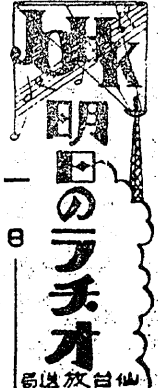
神谷村の農家全焼

昨卅日午後七時半頃草野村大字下神谷農四家秀太郎方より發火し住家一棟を全焼して八時鐘火したが原因は提灯の置き忘れからで損害三百圓

無一文上陸

静岡の漁夫

静岡縣磐田郡二俣町生れ漁夫瀧瀬兼市(三)は去る廿一日午後十時頃小名濱港に入港せる際無一文で上陸同町上町四七料理店金星事池田ヨシノ方で五圓餘を無銭飲食し平署へ突き出された



天 氣 豫 報
今晩は南東の風 曇り明日は南西の風予報ト！

今晩の部

- 後六〇〇 長唄 鞍馬山 及川京子他
- 後六二五 教育者體験談 瀧谷均鎌田鏡
- 後七三〇 食後の音楽 モアナグリークラブ
- 後七五五 琵琶「橋中佐」 秋根旭惠福岡
- 後八二五 落語道灌三遊亭金馬
- 後八四五 但馬民謡マイ

明日の部

- 前九三〇 子供の時間 獨唱と管絃樂 イ行進曲 「野砲兵」東京サロネール ケストラ 獨唱「蛙のお
- 後九三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
- 後九〇〇 時事解説「來年度豫算に就て」經濟學博士牧長輝智
- 後九二〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

ブリ一萬漁獲

濱の大敷網は去る廿七日鱈一萬尾を漁獲久し振りで景況を呈した

平町壯丁除隊

一丁目五酒井武夫君は短期現役兵として歩兵二十九聯隊に入營中であつたが今回除隊となり本卅一日午後二時五分平署着磐越線列車で歸郷驛頭には軍人分會員愛國婦人會員其他關係者の出迎へで賑はつた

酌婦の腕時計

廿五日双葉郡久之濱町料理店新妻スイ方に忍び入り酌婦瑞みつ(三)の腕時計を窃取した犯人は捜査中の處同町居住の土工小林茂作

舟「望月誠」
前二〇〇〇 講演「關東大震災第十二周年記念日に當りて」關屋貞三郎
前二〇〇〇 講演「家庭に使用される、輕金屬のお話」京大教授工學博士西村秀雄
前二〇〇〇 講演「地震記録者としての森宗弘について」角竹喜登
前二〇〇〇 講演「東京市長牛塚虎太郎」
後二〇〇〇 講演「九月曆」
後二〇〇〇 漫談「九月曆」
後二〇〇〇 舞臺劇「鹽原」

平裁判たより

- △朝鮮釜山市大倉町三丁目十八生れ當時勿來町大字酒井字出藏二六六日本炭礦勿來坑四九の九支柱夫李達玄(三)が去る十二日正午頃同所五十三号の二朴永壽方で舊盆の振舞酒を飲酒中同僚同坑探炭夫韓斗星と口論となり出刃庖丁を振つて同僚の側背部へ切付全治三週間の重傷を負はせた事件は傷害罪として平區小林判事より略式罰金四十圓に處された
- △双葉郡富岡町元新聞記杉本憲一(三)の教員脅喝事件は去月十五日平區で懲役四ヶ月の判決を言渡され不服で控訴したが昨卅日福島地方裁判所で開かれた控訴審で市川檢事より懲役八ヶ月を求刑された判決言渡は來月四日

平職界紹介所報告

- △人々を求めの方
- △子守 十五才 尋卒 仕着外三圓
- △旅館番頭 尋卒 委細面談
- △雜夫 二十才 十四圓五圓
- △絹糸職工 二十迄 二名 尋卒 日給五十錢以上
- △回職を求むる方
- △料理見習 十八才 尋卒
- △商店雜役 三十一才 尋卒
- △洋服職 四十六才 中二修
- △木炭店員 四十才 高卒

上田病院

平町南町 電話一二九番

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番



明治太平記

(作) 寺島征史

第二百十四回

浪々の身 (六)

「あのう先生」

「は、は、いけません先生などと……」

「いえ、でも……でも、先生もう、およしあそばせな、そんな勉強なぞ……」

「して世間を面白くおかしく暮した方が得ですわ。オホ、……」

「おふくはあでやかに笑つた。」

「いや、ごもつともです、しかし異郷でひとりぼっちになると、まづパンのため」

「まア、氣のおちいさい……くよ、なざるものぢやありませんわ、イギリスの軍人さんともあらうお方が、オホ、……」

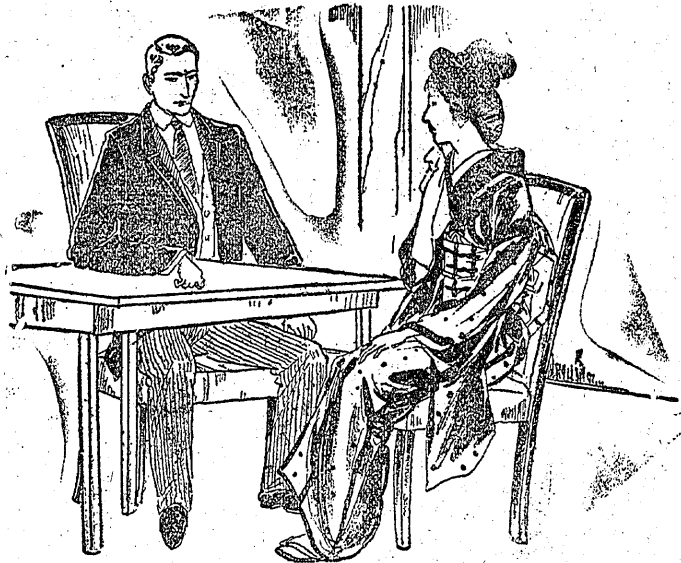
「いや、どうも……」

「彼は、頭を掻いた。」

「でね、先生、あたし、先生とパークスさんと握手するやうにしてあげたいとおもつてますの」

「いやそれは、お断り……」「いけません。パークスさんはもう、何とも思つてやしないんですの、イギリス人同士が他國へきて魚……」

「しかし」
「いえ、もうそのことでパークスさんのお許しを得て、あなたをお迎へに来ましたのよ、ホテル館へこれ」



「おふくくしやん」
「ウエルズは、鼻聲だった」「え」
「そ、それほどの御親切が、おありなら、おふくくしやん」

この天涯孤獨のウエルズを慰めてくださいやい
「え？」
「パークスをすて、わたしのところへ来てくださいやい」
彼の言葉は哀調をおびてゐた。
「オホ、あたしまだ、あなたが好きだとも何とも申しませんが、おふたりの仲を、もと通りにしてあげたいといふのが、あたしのねがひですのよ」
おふくの良順は、高飛車に、しかも充分の愛嬌をにほはして笑つた。

「わたくし……」
「いえ、もう何も仰しやしません、黙つてパークスさんのお手を握りなさいまし」
ウエルズはしばらく考へてゐたが、やがて、輝かしく眼をあげておふくをみた
「ありがと、しかし、パー」

クスに會ふ前にあなたにきいていたとかなばならぬことがある
「どうぞ、仰しやつてください」
「こゝでは、いけん。おふくくしやん、散歩してくださいやい」
「散歩？……西洋の方、散歩と牛肉がずる分おすさね日本人は散歩などしませんわ」
「日本人は小國民こそ、して散歩するの餘裕がありません。英國人は、好んで散歩します。大國民の態度です」
「オホ、そんなこと、どう」

磐城セメント會社特約店

久全屋酒店

磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町一六【電話一七〇番】

でもよろしいわ。ぢア、その大國民さんの散歩のお供をさしていただきますわ……」
ふたりは、やがて、采女

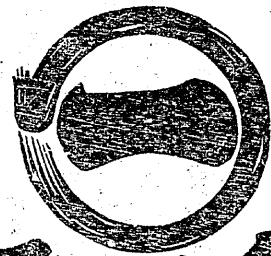
町の安洋館を出た。
海から吹いてくる風が、肌をさわやかに、快い夏の宵だった。
「どこへいらつしやいます？」

「……」
ウエルズは、くちびるを結んだまゝ、歩いてゆく。

味美貝焼

しほから

新鯉節大賣出し



魚問屋

店理代命生本日本最大最優最
榮盛賀丁四平
(三一電)目

市原醫院

平町田町(電二一四番)
内科 小兒科 市原卯太郎
外科梅毒・淋病 市原三三男
入院隨時

胃腸病科

皮膚科

性病科

花柳病科

性皮膚科

門

院醫性病胃腸村松

(平町南町一〇七番)